

# 一般社団法人千葉県社会福祉士会 第5回定時総会 ご意見に対する回答

## ＜ご意見①＞ 錦織様

1. 会の活動について、会員は中身は何もしらされないまま終わる
2. 会員の費用で、会の活動の代表として、役員になってもらっている意味がない
3. ただ資料に書いて、報告すればいいという問題ではない
4. 役員が主役ではなく、会員一人一人が主役にする方策を検討するように
5. 会だけでなく、各部会にも徹底すべし

## ＜回答①＞

ご意見ありがとうございます。

確かに本会の活動全てを総会資料のみで説明することは困難です。現在、年7回開催される理事会において、各委員会・部会からの活動報告を理事会議事録にて公開しておりますが、より会員の皆様の目に留まりやすいよう工夫できるか検討させていただきます。

本会の主役はもちろん会員の皆様です。引き続き、会員の皆様お一人お一人にご協力をいただきながら、本会も成長・発展できるよう努めて参ります。

## ＜ご意見②＞ 錦織様

1. 情報の中身についての公開の必要性について
2. 役員の任期について
3. 倫理委員会のこと

## ＜回答②＞

ご意見ありがとうございます。

回答①でも述べましたように、議事録の公開方法を再検討するなどし、会員の皆様が議論しやすい環境の整備に努めます。

役員の任期は下記の規程に基づいて運用しておりますが。連続しなければ再任することは可能です。任期については他の会の状況なども情報収集しながら、理事会で検討させていただきます。

倫理及び倫理委員会のあり方について、より良い結論が導き出せるよう引き続き検討していきます。

### ● 委員会の設置及び運営に関する規程（規程第4号第3項）

委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、連続して4期（8年）を超えて選任されることはできないものとする。

### ● 「権利擁護センターぱあとなあ千葉」運営規程（規程第21号第9条第1項）

委員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、連続して4期を超えて委嘱されることはできないものとする。

以上

## 総会意見

- 1、資料を見入ると、誰がどこの会に行ったとか、誰がどこの会議に参加した、などの情報のみである。  
総会で、これだけの内容について中身の説明ができるわけではなく、結局は、会の活動について、会員は中身は何も知らされないまま終わる。(午後の短時間で、そこまで、説明する時間があるわけがない)
- 2、これでは、会員の費用で、会の活動の代表として、役員になつてもらっている意味がない。  
役員とは、会の代表として、会員に代わって、行動するものであり、その権源は会員に由来し、その行動は会員の理にのつとり、その成果は会員に還元するものである。それを民主主義といい、さらに非営利の団体では、それが目的となる。
- 3、従つて、ただ資料に書いて、報告すればいいという問題ではない。会の活動、成果をきちんとその時々、会員に報告し、還元する適切な方法を取つてもらいたい。  
別に難しい事ではなく、ホームページに載せる、「点と線」に乗せるなど、方法はいくらでもある。
- 4、また、こういうことが今まで、きちんとされてこなかつたことは、非営利法人として、怠慢としか言いようがない。  
なので、役員の中には、「役員をすること」がなにか「自分に能力がある」とか、「たいそうなことをやつている」とか、「忙しいので、自分のすべきことにはきちんと適切な配慮や責任を取らなくてもいい」というとんでもない思いを持ち、中には倫理問題を起こし、それを類かむりするという役員まである始末である。  
さらに、会員においてさえ、そのような状況にありながら、主体性を持てずに、役員に「やってもらつている」などという見当違いの配慮をして当然という感覚がある。つまり主権者意識が欠けている。それでは、役員のなり手がないのは当然である。  
会においては、主権者としての会員の育成に努めるよう、役員が主役ではなく、会員一人一人が主役にする方策を検討するように。  
人間はほっておけば楽な方に逃れるのである。それは会員も役員も会自体も同じ。
- 5、もちろん、これらのこととは、会だけでなく、各部会においても徹底すべし。

平成29年5月28日

鈴木

## 総会意見

1、情報の中身についての公開の必要性については、前の中身のとおりです。

自分達はこれだけのことをしたと言われても、中身がわからなければ、本当にそうなのかは、わからない。

ただ、あっちやり、こっちやり忙しいことをもって、発展したとか、成果が出たとは主觀に過ぎないからです。

例えば、昨年の支えあい資金の全体会でも、参加のお知らせは、来ることは来たが、その議論の中身は公開されていないので、言いも悪いも承認のしようがない。

そもそも全体会自体が、何の資料もついていない題名だけでしたので、参加して、意見をどう形成するのか自体がわからないので、多くの会員には参加の意欲もわかないでしょう。

そのようなことはきちんと言っているのですが、また8月に支えあい資金について、題名だけで、全大会を開くという。今までの時間の中で、どのようなことが論点として出てきているのか、さっぱりわからない。何をどう話し合うのですか？

そのたたき台の資料自体を出していないのだから、果たして、全大会になるのですかね？

全大会という名の責任逃れだと思います。

たたき台がまだできていないなら、出来ていないので、たたき台を作る話し合いときちんとな打たなければならない。またそこでできたたたき台は、これがたたき台ですと公開しなければ議論は出来ない。

こういう発想をしなければ、やったつもりで中身がない、ということになる。

また、こういう議題の際の資料は、一定程度の会員数を持つ団体では、事前に背面で送る、またはネットで資料を公開する、という方法を普通に取っていますので、顧問弁護士にでも聞いてください。

## 2、役員の任期について 役員の任期が長すぎること。

私は、ばあとなあに入って、肌で感じたことは、極めて強い主觀で運営されているということです。

そのことで、倫理問題もきました。

人間はどの人でも欠点ばかりの存在ですし、自分の過去の経験しか知りません。神でも法でもないのです。さらにこれが一番問題のですが、人間はほっておくと欲が増大するという悪い癖を持っているということです。これが手に入れば次はこれ、その次はこれ、と切りがないのが人間の実存です。

ですから、昔から、その肥大化した欲をいかに抑えるか、に人間は腐心してきた歴史があります。

政治の世界でもそうでしょう。長期安定政権はすべて、経済の発展とともにあり、発展しないときは政府は短命です。

しかし、私は、真に福祉の立場から、異なる見解を提示します。

経済という人の欲が発展するときは、必ずその裏側に、さまざまな矛盾が生じています。

現代でも、相対的貧困、過労死、増大する精神疾患、自殺の増加という矛盾が生じています。政治が安定し経済が発展しても、人は幸福にならないのです。

同じように、会が発展し、仮の安定が得られても、それによって、会員が充実し、社会の幸福に寄与している存在になっているとはならないのです。

ですが、私たちは、一人一人が福祉という手段を通じて、人の幸福に寄与することを目的として、仕事をし、非営利の会を作っているのです。

もし、何かをしても、それが相手の幸福を心から願う、という第一の目的を離れては、それは、もう福祉ではないのです。そういう思いを、「倫理」「良心」と言います。

つまり、同じ人が長く役員をすることは、この倫理、良心を忘れて、自らの欲を「会のため」といういいわけで、増大する事なるのです。初心に帰るという誠実な気持ちや諸行無常を忘れてしまうか、気づかないのです。

もし、この会がそのことを誠実に認めたくないなら、この会の存在意義はなんでしょうか？

いろいろなことをしたから、人を幸福にしたとはつきり言いれますか？

そうでないなら、金が躍躍したいからそうした、というだけです。会の存在のための会であって、それ以上の意味も価値もなく、さらに、有害であるかもしれません。

もし、その程度の会なら、いっそのこと解散して、そのお金と時間を使って、一人一人がボランティアでもした方がまだ、世のため人のためです。

また、際限なく活動の輪を広げて、中身を薄くするより、一つでも、きちんと確実に人の幸福につながることをした方がマシです。

もちろん、このことは、福祉でご飯を食べたいということを否定するものではありません。自分はさておき、相手の幸福のために、勉強し、実践し、結果を出すことにより、自然に自分にお金が入ってくることは正しい因果です。しかし、それ以上は欲です。

まあとなあで、何度か、聞くのですが、弁護士の後見人はたくさんお金をもらっている、という比較論です。なら、弁護士になればいいのです。

しかし私たちは、自らの意思で福祉を選んだのです。福祉には福祉の実践における限りない喜びがあります。それは「あらゆる差別や偏見を捨てるという自らへの果敢な挑戦」を経て、相手の幸福を願うという心の幸福です。それを、感得しない限り、仮に弁護士になつても満足しない事でしょう。

同じように、支えあい資金で、いくらもらっても、満足しない事でしょうね。嫌なものまで、引き受けとはだれ一人として言っていないのです。会として体裁があるから引き受けたなら、見栄を張った本人の責任です。自分の力不足で、お金をたくさんもらわないと、やれないなら、それも人間の情として認められますし、大変なことは他人に力を貸してもらうのが人情です。

気負うことではありません。

### 3、倫理委員会のこと

それを作るのは良い事です。しかし、そこで基準にする倫理とは何でしょうか？

あいまいにせず、考えたことがありますか？

まあとなあで、かつて聞いた倫理とは、相手の出してくれたお茶いっぱい飲まないのが倫理、というお粗末なものでした。

逆に、倫理をしっかり自覚できる会なら、倫理委員会など必要ないはずなのです。

倫理委員会を作りつつ、それが稼働する必要が無いぐらい倫理的な自覚ができるよう、常日頃、しっかり、自らと向かい合い、また、会でも勉強し話しあっていきましょう。それが先決です。